

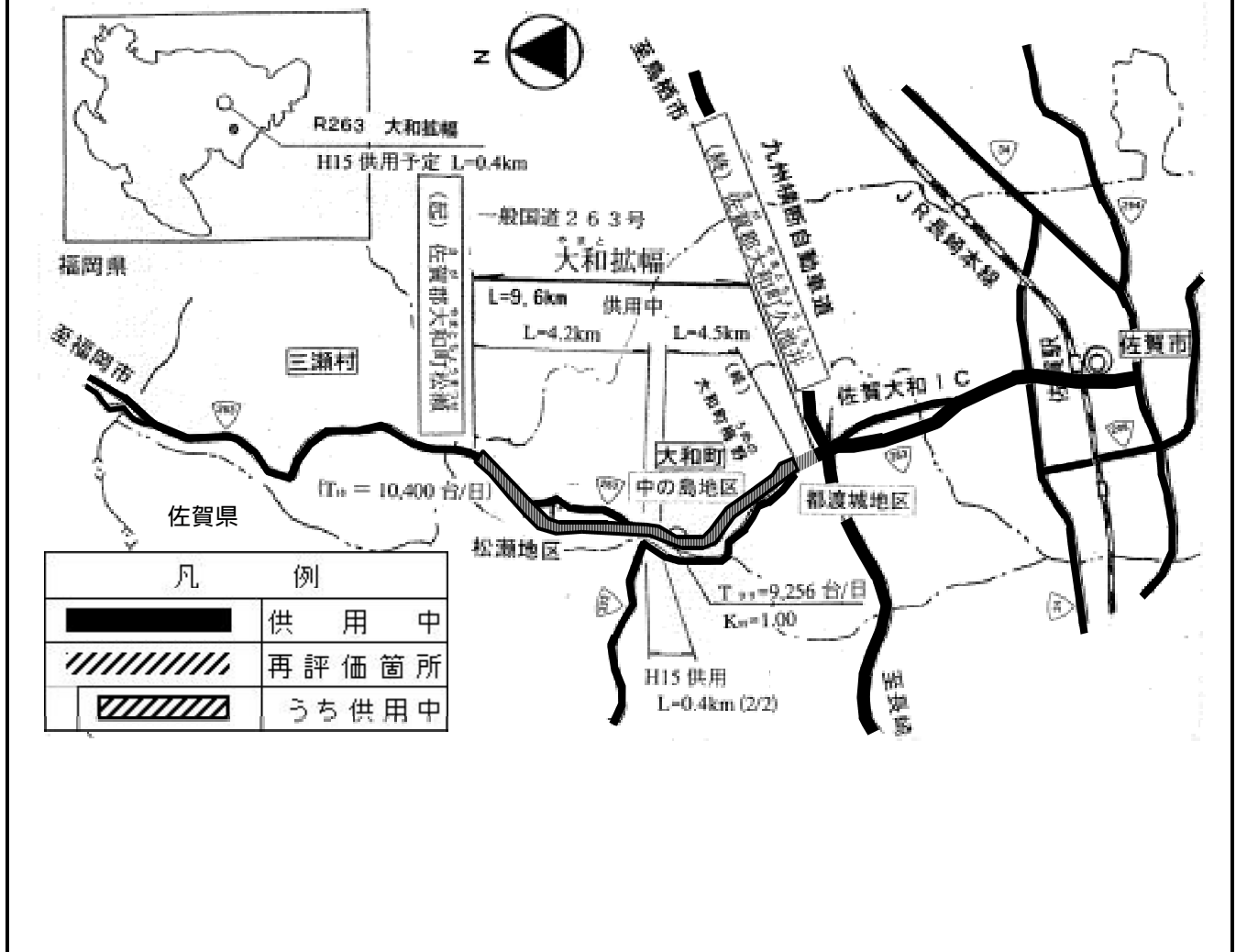
再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道263号大和 ^{やまと} 拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	佐賀県
起終点	自：佐賀県佐賀郡大和町松瀬 ^{やまとまつせ} 至：佐賀県佐賀郡大和町久池井 ^{やまとくちい}				延長	9.6 km
事業概要	一般国道263号は、福岡県福岡市 ^{ふくおか} を起点とし、佐賀県佐賀郡大和町 ^{さがやまとちょう} を経て佐賀県佐賀市 ^{さが} に至る延長約53 kmの幹線道路である。大和拡幅は、一般国道263号の佐賀郡大和町の線形不良、隘路区間の解消及び交通安全の確保と佐賀市と佐賀北部山間地域、さらには福岡県福岡市との連携強化を図ることを目的とした、大和町松瀬から同町久池井に至る延長約9.6 kmの2車線道路である。					
S46年度事業化	年度都市計画決定 (S年度変更)		S46年度用地着手	S48年度工事着手		
全体事業費	110億円	事業進捗率	97.6%	供用済延長	9.1 km	
計画交通量	10,400台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.8 (残事業) 1.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 23/183億円 事業費：5/165億円 維持管理費：17/17億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 36/337億円 走行時間短縮便益：35/321億円 走行費用減少便益：1/14億円 交通事故減少便益：0/2億円	基準年 平成15年		
事業の効果等	・災害への備え（緊急輸送道路一次指定） ・その他（佐賀、福岡の連携強化が期待される） <div style="text-align: right;">他4項目に該当</div>					
関係する地方公共団体等の意見	一般国道263号は、沿線地域の振興、佐賀福岡両県の連携強化に重要な役割を果たすことが期待されており、佐賀市をはじめとする関係2市2町1村の首長で構成される「国道263号改良整備促進期成会」より早期整備の要望（平成15年10月）を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	沿線に民間等によるレジャー施設の整備が進み、休日交通量が増加している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	一部において、推定岩盤線及び土質の変動により工事が難航したが、現在までに約9.1 kmの供用を行った。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成16年度早期に用地買収を完了させ、平成17年には事業完了予定である。					
施設の構造や工法の変更等	推定土質の変動による切土法面工（アンカー工）等の追加を行った。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。